

# 『さっきゃま魂』

R5. 6. 23 第6号

発行人：校長 中山 末永

## 待ちに待ったプール開き！

6月21日（水）プール開きを行いました。校長室前にある「プール開き」までのカウントダウンボードを見た子ども達のつばやきからも、この日をとても楽しみにしていたことが分かります。

水着に着替えた子ども達は、みんなにこにこしておしゃべりもはずみ、わくわくした気持ちを抑えきれない様子でした。そのような子ども達に対して、次のような話をしました。

水に入るといことは、いつもとは違った「楽しさ」と「危険」がある。だから、みんなが安全に、安心して、楽しく学習できるように「特別な約束」がある。約束を守り、友達と声を掛け合いながら、自分の泳ぎのレベルアップを目指してほしい。

話しかけるたびに返ってくる「はい！」という元気な返事。2分程の話の中に、その気持ちの良い返事が10回以上はあったのでは・・・と思っています。

コミュニケーションで大切なことは、相手を**見る**こと・その思いをしっかりと**受け止める**こと・



自分の思いを丁寧に伝えること（**反応**）だと思えます。子ども達には、そのような力が着実に身に付いてきています。これからも、コミュニケーション力を磨き、置かれる環境が変わったとしても、周りの人としっかり関わることができる子どもを育てていきたいと思えます。

準備運動をすませ、シャワーを浴びた子ども達のテンションは、ますます高くなり、プールに入ってから活動でも笑顔とはしゃぎ声がいっぱいでした。

楽しい時間は、あっという間に過ぎてしまいましたが、これから本格的にプール学習がスタートします。子ども達の安全・安心を第一に考えながら、楽しく充実した学習ができるよう頑張っていきます。

## 暑さに負けない「力強い走り」



6月22日（木）今年度2回目の「持久走記録会」を実施しました。

「記録会、嫌だなあ〜。」

「たぶん、みんなそう思っているよね。」

昼休みにブランコで遊んでいる子どもと話をしながら、記録会の始まりを待っていました。

昼休み終了のチャイムが鳴り、体操服に着替えた子ども達が水筒をもって運動場に集まってきました。

「みんなが頑張っているから、**崎小の子ども達の持久力が向上している。**」という担当職員の話聞き、子ども達のやる気も一段と高まったように感じました。それぞれのスタート位置に移動し、全学年一斉にスタート。ものすごいスピードで走り出す子どももいれば、自分のペースで走り始めた子どももいます。それぞれが自分に合った走り方を選択し、ゴールを目指しました。

走り終わった子ども達は、みんないい顔をしています。きっと、苦しいことを頑張って乗り越えることができた達成感・満足感があるのだと思います。

走ることが得意な子どももいれば苦手な子どももいますが、全員に「**苦しいことを乗り越えるたくましい心**」を育てたいと考えています。次回の記録会は、熱中症のことを考えると10月になりそうです。しばらく時間が空きますが、朝の走ろう運動は継続していきますので、子どもへの励ましの声かけをお願いします。

夏休みまで、「あと18日」 暑さに負けず、元気に1学期のゴールを迎えたいと思います。